

## 東京都江戸東京博物館(1)

| 事業名                                          | 会期                        | 概 要                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----------------------------------------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別展<br>「国立ベルリン・エジプト博物館所蔵<br>古代エジプト展 天地創造の神話」 | 2020年11月21日<br>～2021年4月4日 | 世界有数のエジプト・コレクションを誇る、ベルリン国立博物館群の収蔵品から「天地創造と神々の世界」「ファラオと宇宙の秩序」「死後の審判」などをテーマとした作品を選び、 <b>「古代エジプト神話」</b> に焦点を当てた従来にはない展覧会です。 <b>アニメーション</b> などにより <b>神話の世界</b> を疑似体験できる演出を行い、個性的な造形美を成す作品等を通して壮大な文化を体感することができます。<br>都市博物館である当館で、 <b>東京の姉妹友好都市・ベルリン国立博物館群</b> の所蔵品を展示し、両都市のさらなる友好と信頼の進展に寄与します。                                                                        |
| 企画展<br>「市民からのおくりもの2020<br>—令和元年度<br>新収蔵品から—」 | 2021年3月9日<br>～5月9日        | 江戸東京博物館では、江戸東京の歴史と文化に関する資料を収集し、次の世代へ伝えるために保存及び管理を行っています。また、収集した資料を調査し、資料が持つ様々な情報を展示等を通して公開しています。この展覧会は、 <b>新規に収集したバラエティー豊かな資料</b> をご覧くださいと共に、寄贈者に謝意を表し、博物館活動への理解を深めてもらうことを目的としています。                                                                                                                                                                              |
| 特別展<br>「富嶽三十六景への挑戦<br>北斎と広重」                 | 2021年4月24日<br>～6月20日      | 世界的にも有名な <b>葛飾北斎の「富嶽三十六景」</b> は、日本美術を代表する傑作シリーズで、海外で“Great Wave”の名で愛される <b>「神奈川沖浪裏」</b> や、 <b>通称「赤富士」の「凱風快晴」</b> の図柄は特に知られています。この「富嶽三十六景」刊行後まもなく、 <b>歌川広重は「東海道五拾三次」</b> を発表し風景画の名手として高い評価を得ました。その後「江戸名所」「東海道」などの風景画を手掛けた広重は、数々の「富士三十六景」「富士見百景」といった <b>富士山</b> を題材とした作品をも生み出します。果たして、広重の北斎に対する思いとは—？本展では、北斎「富嶽三十六景」全46図とともに、 <b>当館が所蔵する北斎・広重の代表的な作品</b> などを紹介します。 |
| 企画展<br>「発掘された日本列島<br>2021」                   | 2021年6月5日<br>～7月4日        | 文化庁と共催する巡回展のスタートを切る展覧会です。2021年度は、全国の発掘調査の成果を速報する「新発見考古速報展」と地域研究の成果を展示する「我がまちが誇る遺跡」に、特集展示「記念物100年」を加え、 <b>埋蔵文化財を通じた日本の歴史・文化の魅力発信とその保護の重要性</b> に関する理解を深める目的で開催します。あわせて、東京における発掘調査の成果を紹介する地域展も開催します。                                                                                                                                                                |
| 特別展<br>「大江戸の華—武家の儀礼と商家の祭—」                   | 2021年7月10日<br>～9月20日      | 都市江戸に暮らした <b>武家や商人・町人の儀礼、祭礼、婚姻</b> など、「ハレ」の場面や舞台に注目し、活発にして明るい江戸のすがたを明らかにします。<br>当館所蔵資料の優品・初出品の資料を中心に展示を構成することで、 <b>「江戸博コレクション」の価値を高め、華やかで大きな資料</b> を重点的に展示し、東京を訪れる国内外の来館者にもわかりやすく、楽しめる内容とします。                                                                                                                                                                    |
| 企画展<br>「相撲の錦絵と江戸文化」                          | 2021年7月17日<br>～9月5日       | <b>浮世絵と相撲は、今日、世界の多くの人々に知られています。</b> 江戸中期、多色摺り木版画の浮世絵である錦絵が庶民にも広まり、江戸文化を楽しむ情報ツールとなりました。一方、相撲観戦も庶民の娯楽となり、 <b>相撲錦絵</b> というジャンルが成立しました。東京2020大会の開催時期に合わせ、相撲博物館所蔵資料を中心に、 <b>相撲錦絵の魅力と江戸文化</b> を紹介します。                                                                                                                                                                  |

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで）

【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）

## 東京都江戸東京博物館(2)

| 事業名                        | 会期                   | 概 要                                                                                                                                                                                                                                               |
|----------------------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画展<br>「江戸東京通史」            | 2021年9月18日<br>～12月5日 | 常設展示では、徳川家康による1603年の江戸開府から2000年代までの江戸東京の歴史、生活、文化を紹介しています。では、それ以前の東京地域はどのような様子だったのでしょうか。旧石器時代までさかのぼり、東京地域の長い歴史を紹介します。                                                                                                                              |
| 特別展<br>「縄文2021－東京に生きた縄文人－」 | 2021年10月9日<br>～12月5日 | 東京都埋蔵文化財センターと国立歴史民俗博物館の特別協力により、「東京の縄文」をテーマとした東京都における30年ぶりの展覧会を開催。江戸の暮らしや文化を振り返る礎として、その源流とも言うべき東京の縄文人の生活に焦点をあて、縄文時代を生きた人々の「生」の暮らしぶりを伝えます。<br>これまで江戸東京の様々な暮らしや文化を歴史資料に基づいて復元・再現してきた江戸東京博物館（本館）の実績を活かして、縄文時代の出土品が使用されていた生活空間や道具の実際の使用を復元・再現した展示とします。 |
| 企画展<br>「徳川宗家2021」          | 2022年1月2日<br>～3月6日   | 江戸東京博物館では、1993年の開館以来、徳川宗家が所蔵している資料を継続して調査しています。この調査の成果を、常設展示室において、毎年異なるテーマに基づき、公益財団法人徳川記念財団と共同で展覧会を開催しています。                                                                                                                                       |

※この内容は2021年2月8日現在のものです。事業内容は変更する場合がございます。  
詳細は東京都江戸東京博物館広報担当までお問い合わせください。

### <お問い合わせ先>

#### 東京都江戸東京博物館

〒130-0015 墨田区横網1-4-1

電話 03-3626-9974 FAX 03-3626-9950

<https://www.edo-tokyo-museum.or.jp>

【開館時間】9時30分～17時30分（土曜日は19時30分まで）

【休館日】月曜日（祝日・振替休日の場合は開館、翌日休館）、年末年始

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止等のため、開館時間等を変更する場合がございます。（最新情報は公式サイトでご確認ください）